

# 「戦後 80 年沖縄全戦没者追悼式における平和宣言」への県民意見の概要について

令和 7 年 6 月 26 日  
沖縄県平和・地域外交推進課

## 1 県民意見の募集について

沖縄県では、毎年 6 月 23 日に執り行われる沖縄全戦没者追悼式において、戦没者のみ霊を慰め、戦争体験を継承するとともに、恒久平和の実現に取り組む決意を宣言してきました。

戦後 80 年の節目を迎えた令和 7 年の平和宣言においては、悲惨な地上戦を経験した沖縄県として恒久平和への決意を新たにし、平和を希求する「沖縄のこころ」を県内外にさらに発信するとともに、県民の思いを込めた宣言とするため、県民の皆様からご意見を募集することとしました。

## 2 募集概要及び結果

- (1) 募集期間：令和 7 年 3 月 28 日（金）～ 4 月 11 日（金）
- (2) 募集方法：郵便、FAX、電子メール、電子申請
- (3) 募集項目：①恒久平和に対する思いについて  
②次世代に残したいものや伝えたい思いについて
- (4) 意見総数：15 件【個人 4 件、団体 11 件（※）】  
（※）浦添市観光協会、南風原平和ガイドの会、NPO 法人自然体験学校株式会社沖縄タイムス社、株式会社物産企業連合、佐喜眞美術館、ちゅうちな一草の根平和貢献賞受賞者

## 3 県民意見の概要

### (1) 恒久平和に対する思いについて

#### ア 過去の教訓・継承として

- ・二度と戦争をおこさせない
- ・戦争の記憶を風化させない
- ・戦争遺跡を通じて沖縄戦の実相を伝える
- ・命<sup>めち</sup>どう宝

#### イ 未来に向けての発信として

- ・ 異文化理解
- ・ 核兵器廃絶と恒久平和構築への普段の努力が重要
- ・ 自分ができることは何か考える
- ・ 沖縄から世界への平和発信

### (2) 次世代に残したいものや伝えたい思いについて

#### ア 過去の教訓・継承として

- ・ 正しい歴史を学んでほしい
- ・ 万国津梁の精神
- ・ 困難に負けじと復興した沖縄の歴史と想い、人々のパワーを繋げたい

#### イ 未来に向けての発信として

- ・ 平和は誰かが作るものではなく自ら作るもの
- ・ 一人ひとりの行動が重要
- ・ 戦争遺跡を次世代に残すことが重要
- ・ 世界への平和発信

## 4 平和宣言への反映

様々な県民意見の中から、お寄せいただいた思いを踏まえ、以下のとおり戦後 80 年平和宣言に反映しました。

- 沖縄戦の実相と教訓を、県民一丸となった不断の努力によって、世代を超えて守り続けていくことは、今を生きる私たちの使命
- 苦難の歴史を歩んできた沖縄は「命どう宝」<sup>めち</sup>を何よりも重んじ、争いのない平和な世界を切に願っている
- 世界の恒久平和のため、何ができるのか、真剣に考え、国際社会と協調しながら、たとえ微力でも行動していく
- 「国際平和研究機構の創設」に向けた取組を進め、沖縄戦の歴史的事実<sup>めち</sup>に資する研究や国際平和の構築に資する研究の推進に向け、研究体制を整備する
- 沖縄戦の記憶を継承するため、物言わぬ語り部である戦争遺跡群を保存し、悲惨な将来的に沖縄戦を教訓とする遺産として整備し、世界遺産登録を目指す
- 「核軍縮及び核兵器廃絶」に向けた取組を進め、国際社会に働きかける
- 先人達から脈々と受け継いできた「万国津梁」の精神により、国際社会とともに恒久平和の実現に貢献する役割を果たす